

令和6年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業内容

No	事業名	団体名	事業内容
1	素晴らしい絵本を広める会 第10回公演「宮沢賢治のお話と式町水晶さんのバイオリンと生き方が煌く世界」	素晴らしい絵本を広める会	後世に語り継いでいきたい素晴らしい絵本がたくさんあります。絵本は本来子どものためのものですが、優れた絵本の内容は大変奥深く、大人が読んでも深く心が震えます。そのような素晴らしい絵本を用いた朗読劇舞台の普及を活動の目的としています。第10回公演として、音楽にのせて宮沢賢治作の「セロ弾きのゴーシュ」を中心に「よだかの星」の読み語り、第二部ではパラリンピック閉会式バイオリニスト式町水晶さんの素晴らしいコンサートと語りをお演じいたします。長く小田原に在住され、情熱的に生きることを教えてくれる子ども達のお兄さんの存在の音楽家「式町水晶さん」の演奏をこの機会に広くご紹介し、小中学生と保護者を中心にご高齢の方から小さなお子様までを聴衆とし、情操教育の一助としたいと考えます。市内のジュニア合奏団、合唱団にも共演要請を進めます。
2	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」	声の万華鏡実行委員会	本事業は、朗読や読み聞かせ、民話語り、落語等、子どもからお年寄りまで様々な語り手が、一堂に集い交流して、声の文化を広める機会を創ります。同時に、子どもたちが元気にあいさつ出来るよう、音読や民話語りで集う「子どもの声の万華鏡」を実施し、声を出す大切さを広めます。
3	竹あかりづくりワークショップと竹あかりイルミネーション	おだわら竹あかりプロジェクト	竹あかりを使ったワークショップ(竹を切り、穴を開ける体験)を開催し、地域の環境課題(竹害)へ関心を向けてもらおうきっかけづくりの場を設けるとともに、令和6年6月に開催予定の「小田原城あじさい花菖蒲まつり」をはじめとする市内外のイベントと協働し、竹あかりを使ったイルミネーションイベントで認知度や関係人口の向上を図る。
4	地域清掃ボランティア事業	WADERS(ウェイダーズ)	地域全体を視野に入れながら身近な地域の環境改善を行う。グループのメンバーを中心に地域の方々を誘って定期的に(年9回程度)川の中・河原等のごみ拾いを行うと同時に、参加者にプラスチックごみ(プラスチック製品)の特性を説明し、理解を深めてもらう。定期的に(年4～5回)フェスタを開催し、理解者を増やし活動の活性化と継続性を図っていく。
5	飲食イベント事業	夜市-小田原-	小田原城周辺で飲食を楽しむ「夜市(よいち)」を開催し、小田原ならではのまちなかの暮らしの楽しさ、歴史・文化・景観の素晴らしさを小田原市民や来訪者と共に味わう。活動を通して、特に普段城址周辺で多くは見かけない若者も含め、参加する人々の地域への愛着を醸成するとともに、定期的な開催によるQOLの向上を目指す。
6	「みんなの学校」上映会	めだかサロン	子ども主体の学校を作ってきた大阪・大空小学校のドキュメンタリー映画を鑑賞する上映会を開催。 10月～11月に小田原市の公共施設にて上映会を行う。 2022年9月国連・障害者権利委員会が日本政府に対して障害者権利条約の履行状況について総括所見を発表、その中で特別支援教育の中止を勧告したことに強烈な衝撃を受けたことから、地域住民として何が出来るか、津久井やまゆり園のような事件が二度と起こらないようにインクルーシブ教育について今まで学んできた。当団体は安心できる場を作る為に大人がどう行動していくべきなのか、それには子ども達から学んでいくことが近道であるという考えに至った。大空小学校について地域の皆さんと情報を共有し、子どもが本来持つ個性を伸ばせる、そして地域住民が自分たちの学校として学校に関わる活動のスタートにしたい。
7	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原は、障害のある子のご家族の悩みや相談の内容に対してワンストップで解決の方向をご案内する活動をしていきます。今回は、「地球を守る!」代表の谷口たかひささんと、小田原市防災対策課職員をお招きしてセミナーを催し、障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知を図ることが目的です。また、年度内に数回のミニセミナーを実施予定です。
8	あらゆるケアする人をケアする「ケアラー支援」～本音と弱音が言える場づくり～	MilkyWay	市民活動団体『MilkyWay』は、福祉等の知識や様々な経験を持つ市民として、あらゆるケアする人たちをケアする「ケアラー支援」を行う。ケアラーはヤングケアラーや支援の仕事をする人たちなども含まれる。ケアラーの情報共有と本音と弱音が言える場づくりとして『ケアラーズカフェLuana』を月に1回行う。識者による講演会を開催し、ケアラーや会員も含めた市民も学び、次に進む先を共に考える機会を設ける。チラシ・会報誌・冊子等でケアラーや活動に関する普及啓発活動を行う。
9	いじめのない社会へ「いじめストップ!ピンクシャツデー」事業	ピンクシャツデー小田原実行委員会	カナダの高校生が始め、いまでは世界中に広がっている「いじめ撲滅運動」のピンクシャツデー。ここ小田原でも、市民に「いじめをなくそう」という意識の向上を促し、さらなる意識醸成、多様性社会、共生社会の啓発を図ることを目的として、ピンクシャツデーチャリティイベント「いじめストップ!ピンクシャツデー」を開催します。音楽や朗読をメインとした内容で、いじめのない社会づくりを啓発します。
10	フードバンク事業による生活困窮者の方々への支援(3)	NPO法人報徳食品支援センター	小田原市を拠点に神奈川県西2市8町他で、NPO法人「報徳食品支援センター」はフードバンク事業をこの5年間展開している。市町行政、各社協等と連携して生活困窮者の方々に無償で食品を提供している。昨年度は、本補助金を頂き、要望の多い冷凍食品の配布を充実してきた。特に一人親家庭(シングルマザー等)を中心に実施してきたが、国の補助も来るようになったため、物価高騰の中で、国の補助が手薄な相対的に生活が苦しくなった年金に頼る高齢者世帯に冷凍食品などの食品を老人会自治会等と連携して提供する。
11	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業	ピンクリボンぶらすODAWARA女性のがんを考える会/健康づくり課	乳がん検診をはじめとするがん検診や、小田原市内で低迷が続いている健康診断(特定健診)などの受診率を向上させ、がんの早期発見・早期治療の推進につなげるために、女性を中心とする一般市民を対象に、がんの正しい知識を高めることを目的とした講演やトークイベント、啓発展示、啓発物配布などの事業を行う。市健康づくり課と協働で多角的に進める。